



杉

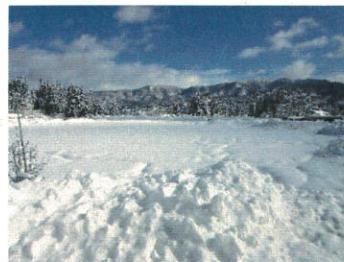
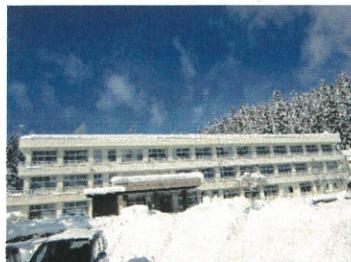
故郷を愛し心豊かにたくましく生きる西山っ子の育成
豊かで思いやりのある子 よく考えくふうする子 健康でたくましい子

第 30 号 平成 29 年 1 月 17 日(火)

文責：菊地正人

冬本番到来！ 大雪です

今年も「少雪暖冬」と言われていましたが、その予想がはずれて先週から雪となりました。学校周辺の積雪は 1m を超しています。大成沢や琵琶首は当然多く積もり、高森地区はバスと同じ高さになり 2m を超すほどの積雪となっています。連日、朝からの除雪作業でお疲れの方も多いと思います。しかしながら、うれしいことに子どもたちの欠席は少なく、大雪や寒さにも負けず全員元気に登校しています。本当に頼もしい限りです。この元気で、このパワーで 3 学期を乗り切っていきたいと思います。なお、かぜ予防と事故防止については、引き続きよろしくお願ひします。



「全校のつどい」の話から…

毎月 1 回「全校のつどい」の中で、校長からいろいろな話をしています。今回は、人の話を「聞くこと」

について話しました。「人の話を聞く」に使われる漢字は、聞です。耳という時が入っていて、「音として会話を聞く」「情報を耳に入れる」といった意味になります。一方、別の字の聴くはどうでしょう？ 今回は、この「聴」にはいろいろな意味が込められていることを話しました。「耳を傾け、相手の心に寄り添いながら聞く」といった意味になります。そして、この「聴」の漢字を分解して、よく見て見ると、耳 + 十 + 四 + 心 となります。耳だけでなく、十四の心で聴こうという意味です。さらに、耳に目と心を合わせてしているので、心をこめて、心の目で見て感じて聞くことが大事になってきます。では、十四の心とは、どんな心なのでしょうか？ 十四のうち四つ程あげますが、残りの心について皆さんもいっしょに考えて見てください。① 「美」しい心で聞く ② 「新」しい心で聞く ③ 「広」い心で聞く ④ 「樂」しい心で聞く（きいて、たのしくなる）・・・（あとは、裏面参照）

このように、聞くということは、耳・目・心をもって聞くことです。他の人と話し合いをしたりコミュニケーションをとったりする場合も、まずは相手の話をしっかりと聞くことを大事にしたい。という話をしました。



本校の子どもたちは「聞くこと」は申し分ありません。いつも集中して聞くことができます。ただ、自分の考え方や意見を自分から話すこと、発表することや一つの課題を数人で話し合い、答えや結論を出すための学習は十分とはいえませんので、これからさらに、学校あげて取り組んでいきたいと考えています。